



広報

いまべつ

平成30年
7月号

648

発行/青森県今別町 編集/企画財政課 ☎0174(35)3012 FAX0174(35)2298
今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

五穀



豊穰



7月の元気な声：宮本 みやもと せいら せいら 青空さん（今別小3年：村元）

開業30周年》

情熱、技術が生み出した世紀の大事業!!



▲貫通万歳



▲昭和33年、津軽線全線開通で仮装行列が繰り広げられた。そして、30年後の今、イベントの一つに仮装行列が組み込まれた。

平成30年3月13日、青函トンネルは昭和63年（1988年）の開業から30周年を迎えました。青函トンネルは戦前に構想を計画。昭和29年（1954年）の洞爺丸事故によって構想の早期実現が叫ばれ、昭和39年（1964年）に北海道側吉岡調査斜坑の着工が始まりました。幾多の試練と挫折を繰り返しながら昭和60年（1985年）3月に本坑全貫通し、昭和63年（1988年）3月13日、「青函トンネル」が開業しました。本州と北海道を初めて陸路で結んだ「夢の架け橋」は人や物流の流れを支える大きな役割を果たしています。

津軽今別駅に到着する1番列車・快速海峡4号が同駅ホームにすべり込むのが13日午前10時28分。テープカット、花火、ファンファーレで歓迎し、鳩、風船が空に舞い、花束贈呈と続く。一方、ミス・準ミスゆかた娘一行は、同1番列車に函館から乗り込み、今別町のPRに一役買う。

（広報いまべつ昭和63年3月3日号）で当時を振り返る… 成功させよう開業イベント 町活性化への第一歩に

海峡4号を新駅で歓迎

パレードにあなたも参加を

海峡を超えスポーツ交流

町内外組をはじめ、町内5団体、合わせて8団体からの申し込みがある。開発センターまでの約1、5キロをパレードする訳だが、当日の天気が心配されるころ。町民一丸となつて請願駅を実現させたように、町民多数の参加と沿道での拍手をお願いしたい。

北海道高校選抜②苦小牧市高校選抜（気仙沼高校）④青森県高校選抜（黒石、田名部高校）⑤合川高校（秋田県）⑥今別高校の男女合わせて12チームが熱戦を展開する。東北と北海道という2ブロックが競技するのは、フェンシング部門では初の試みで、関係者から注目されている。

記念パレードは13日午前11時15分に今別漁港を出発する。仮装コンテストへの申し込みは、①常盤村老人クラブ（南郡常盤村）②健寿会（弘前市）③弘前女子厚生学院（同）の

海峡を超えたスポーツ交流として第1回東北・北海道フェンシング競技会が13日午後3時半から14日まで町立今別体育館で開かれる。参加チームは、①

広報 いまべつ
町政と町民を結ぶ広報誌
発行所 今別町役場
〒030-15 青森県東津軽郡今別町大字今別字今別167
☎0174-93-2001
No. 285・昭和63年4月号

町民憲章 各自の衛生環境に心がけましょう

青函に新しい時代 海峡駆け抜けた一番列車

午前8時42分。上り一番列車のはつかり10号が青函トンネル入り口（浜名）からこんには

津軽海峡の海底下で本州と北海道をつなぐ、世界で最も長い青函トンネル（53.85km）が開通。3月13日朝のJR海峡線一番列車から営業運転が始まり、本州と北海道は新たな飛躍へ向け走り出しました。

この日、浜名地区にある青函トンネル入り口周辺は、テレビ局の中継車や約100人ほどの報道関係者、町民、カメラマンなどで賑わい、わずか数秒で通り過ぎる一番列車を待ちました。

函館発上り特急はつかり10号が浜名入り口から進軍を現すと、アツという間に町民や報道関係者の視界から消えました。「早い、新しい時代の幕明けた。周りにざわめきがおこり、拍手が鳴り響きました。

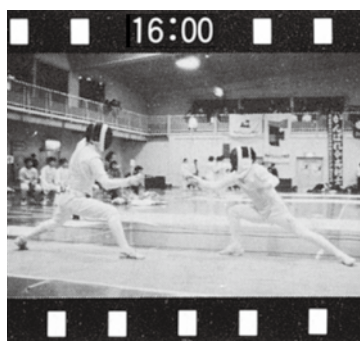
海峡開業で人や文化、産業、経済などの交流が飛躍的に広がり、活発になっていくのは確実であり、町では津軽今別駅を拠点にしたまちづくりや広域観光を推進していくことにしています。

《青函トンネル》

40年余りの歳月とトンネルマンの熱い

（広報いまべつ昭和63年4月号）で当時を振り返る…
歓喜の声が町内を駆け抜けた！ドキュメント「開業記念イベント」

【13日】



▶海峽4号から降りる旅行客を
 出迎える園児ら

16 12 11 10 10 10 8 8 7 7

 00 00 20 32 28 27 25 21 31 23

函館発のトンネル1番列車・特急はつかり10号が発車。
 青森発のトンネル1番列車・海峽1号が発車。
 海峽1号が浜名の青函トンネルへ。
 報道関係者ら20人が浜名入口の線路に入る。（1番列車撮影）
 津軽今別駅に初停車する海峽4号がミス今別、準ミスを乗せて、住民
 ら500人が見守る中、ゆつくりとホームに滑り込む。花火、ファン
 ファーレとともに鳩や風船が晴れ渡った大空へ舞い上がった。
 大阪からツアーで来た一行が初めて新駅へ降りる。（龍飛へ向かった）
 歓迎パーティーで3分遅れで出発。
 今別漁港から開発センターまでの約1・5キロを練り歩く仮装行列パ
 レードが出発。沿道では住民が膨れ上がり、ヤンヤの拍手が鳴り響く。
 町内外からの仮装参加7団体140人の出し物が圧巻。
 仮装コンテストが開発センターで始まる。
 町立今別体育館で第1回東北・北海道フェンシング競技会が行われる。
 気仙沼高校（宮城県）をはじめ北海道選抜チーム男女12チームが熱戦を
 展開。

本州と北海道を結ぶ歴史的第一歩！

山内修一さん（今別）は22歳の時に当時の
 日本鉄道建設公団の臨時職員として13年間先
 進導坑掘削用機械補修員として従事してい
 ました。トンネルなどを掘る際、岩盤が崩れ
 ないように支える仮設構造物がゆがむ。そん
 なことがしょっちゅうでした。トンネルが水
 でいっぱいになり、本坑に入るために掘られ
 た斜坑の途中まで水が達したこともあったそ
 うです。壁に「開通発破」を仕掛け、発火ス
 イッチは東京にいた当時の中曽根康弘首相が
 押しました。トンネルが開いて、総員で万歳
 三唱したことが一番の思い出だそうです。

開催場所：奥津軽いまべつ駅 2階連絡通路スペース

開催期間：平成30年6月5日（火）～平成31年1月末

内 容：（1）歴史

・青函連絡船から青函トンネル着工経緯、完成から現在ま
 で、当時まつわる品々の展示や映像などで紹介します。

（2）列車

・「海峽」「スーパー白鳥」「北斗星」など過去に運転し
 ていた列車の紹介

（3）フォト

・青函トンネルをイメージしたフォトスポットを設置

料 金：無 料



青函トンネル開業30周年
 記念パネル展開催中

今別町消防団定期観閲式

消防功労者等表彰

◎消防長官表彰

★永年勤続功労章 ・菊山 憲雄

◎青森県知事表彰

★永年勤続功労章 ・木村 一生

◎日本消防協会会長表彰

★勤続章 ・平山 岳志 ・鈴木 信彦 ・相内 悦郎

◎青森県消防協会会長表彰

★優良消防団 ・今別町消防団

★功 労 章 ・平山 岳志 ・鈴木 信彦 ・相内 悦郎

★勤 功 章 ・菊山 憲雄

★勤 続 章 (25年) ・嶋中 大 ・木村 一生 ・小鹿 智秋
 (20年) ・平山 寛哉 ・高橋 正光 ・小鹿 明久 ・相内 涉
 ・小鹿 浩嗣 ・上野 博樹 ・川口 通彦 ・最上 文人
 (15年) ・小田桐大樹
 (10年) ・阿部 秀嗣 ・相内 光彦 ・藤巻 勝

◎青森県東青地区消防協会会長表彰

・阿部 聖 ・奥崎 匠 ・阿部 孝 ・平野内良平
 ・笹谷 茂 ・田中 真一 ・相内 政宏 ・杉谷 康仁
 ・太田 俊之

◎今別町長表彰

・本郷 康二 ・相内 勝

◎今別町消防団長表彰

・梅田 剛広 ・大馬 義明 ・坂本 終太 ・岡野 昇
 ・川浪 広貴 ・太田 竜平 ・本間 闘士 ・田中 哲也
 ・相内 譲 ・北山 進也 ・吉田 和也 ・木村 吉孝

◎退職消防団員感謝状贈呈

・中島 了 ・田中 祥一 ・柳谷伸之助 ・相内 弘之
 ・本郷 憲夫 ・綿谷 広巳 ・藤巻 均 ・木村正伊朗
 ・最上 勇人 ・山田 基 ・最上 文人



6月10日、今別町消防団（相内武光団長）定期観閲式が、海峡あすなる公園で開催されました。
 本部分団のポンプ車操法や、各分団の小型動力ポンプ操法を行い、日頃の練習の成果を発揮し機敏で正確な操法が披露されました。
 また、全分団による放水訓練では水柱が次々と高く舞い上がると、関係者や見学に訪れた町民から歓声が上がりました。
 観閲者の中嶋町長は、「相内団長統率のもとに、堂々たる行進や機敏さを要求される操法技術を見て心強く感じた」と講評を述べ、相内団長は「消防人は、町民の生命財産、安全を守るため、今後も一致団結し任務に当たってほしい」と訓示し、団員の士気を高めました。

士気を高める相内武光団長



本部分団によるポンプ車操法



▲機敏な動きで機械器具点検

有料広告掲載
しませんか

広報いまべつでは町民サービスの向上と企業や商店等による事業活動の活性化を支援するため、要綱を定め、有料広告を募集しています。・縦4.5cm×横17cm 3,500円/月 ・縦4.5cm×横8cm 1,800円/月
 広告掲載を希望する1ヵ月前までに広告の原稿を添えて今別町役場企画財政課までお申し込み下さい。
 (申込書は企画財政課に備え付けてあります)

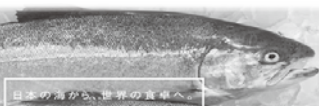
【お問合せ先】 今別町役場 企画財政課 電話：0174-35-3012

サーモン養殖スタッフ

正社員1名月給 20-25万円
 その他、契約社員からの正社員へも可能

No.201802-001

募集



筋子のオカムラが、サーモン養殖に特化した日本サーモンファーム株式会社を立ち上げ、皆様のご協力のもと、今別町での海面養殖試験を開始しております。一緒にこの事業を大きくしていくという意欲のある方、ご応募お待ちしております！



日本サーモンファーム(株)
 〒030-1502
 東津軽郡今別町大字今別字今別71-1
 採用担当：養殖部 鈴木
 携帯：090-6258-2206
 HP：http://japan-salmonfarm.com/
 勤務地：今別町大字今別字今別71-1
 休日：年間休日日数 87日(シフト制)
 勤務時間：8:00~16:30(休憩60分)
 勤務時間は現場の実情に合わせて随時変更いたします
 資格：35歳まで、普通自動車免許(AT限定不可)

※体力に自信のある方で、**今別町、外ヶ浜町出身の方や、工業高校や技術系学校卒の方、プログラマーなどPCに強い方、優遇します。**
 応募：事前連絡の上、左記住所に履歴書をご郵送ください。
 書類選考後面接日時を連絡いたします。
 社会保険完備
 正社員給与：月給20-25万円 年俸制
 勤務開始：随時
 仕事内容：海上での給餌や養殖施設整備、他データ管理解析など
 養殖に関する実務未経験者歓迎です！

泥にまみれて 田植え体験

5月31日、今別小学校5年生は総合学習の一環として、嶋中一仁さん（大川平）の指導のもと、嶋中さん所有の田んぼで田植え作業を行いました。

児童たちは裸足で田んぼに入り、泥の感触を確かめながら一本ずつ丁寧に苗を植えました。また、交代で田植機にも乗せてもらい、「早い」「おもしろい」などと歓声を上げていました。



▶田植え機に乗せてもらう児童

『津軽半島今別サーモン』水揚げされる

青森県と竜飛今別漁協が事業を展開し、浜名沖で試験養殖しているサーモンの水揚げ作業が6月8日早朝、今別漁港で行われました。浜名沖では約1万5千匹を養殖しており、この日は3キログラム前後に成長した成魚を約1,500匹水揚げしました。水揚げされたサーモンは青森市内の市場や東京都内の鮮魚店へ出荷され、作業は7月上旬まで続く予定です。



▶水揚げ作業する日本サーモンファームの関係者ら

今別西田ヶ丘同窓会 青森県内若年同窓生激励会

6月9日、青森県労働福祉会館において「今別西田ヶ丘同窓会青森県内若年同窓生激励会」を行いました。校歌にのせてスクリーンに映し出される今高祭の様子を見ながら恩師や同窓生同士で語り合いました。



▶激励会に出席したみなさん

青北今別フェンシング部 優秀な成績を納める

6月1日～4日の日程で第71回青森県高等学校総合体育大会が行われ、フェンシング競技に出場した青北今別選手が東北大会出場を決めるなど優秀な成績を納めました。結果は次のとおりです。



▶果敢に攻める青北今別の相内選手(左)

○団体戦 男子学校対抗

★準優勝

○男子個人工ペ

★優勝 相内大地

★4位 福原大雅

○男子個人フルレ

★3位 相内大地

★5位 福原大雅

○男子個人サーブル

★5位 田中 純

○女子個人工ペ

★2位 相内 南

○女子個人サーブル

★3位 加藤 舞

東北大会出場

インターハイ出場 東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場



東北大会：6月23日～25日（福島県）
インターハイ：8月2日～4日（愛知県）

あなたと、コンビに、
FamilyMart



ファミリーマート外ヶ浜三厩店

6月中旬リニューアルオープンにつき、スタッフ大募集！
新しいユニフォームで一緒に働きましょう！

[応募方法]下記にお電話ください。面接日時をお伝えいたします。

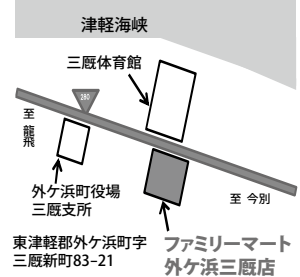
TEL: 017-761-4646

「求人の件」とお申し出ください。
ファミリーマートのホームページもご覧ください。

HPアドレス <http://staff.family.co.jp/cofm/recruit/> ファミマバイト



検索



後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」について

住民税非課税世帯の方に交付されている「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」は、平成30年7月31日が有効期限となっています。

平成29年中の所得状況等により、平成30年度も引き続き非課税世帯と認定された方には、新しい認定証（有効期限は平成31年7月31日まで）が郵送されますので、更新手続きの必要はありません。

新たに平成30年度の住民税が非課税となった世帯の方は、認定証の交付申請手続きが必要となります。後期高齢者医療被保険者証と印鑑を持参の上、市町村担当課窓口で手続きしてください。

平成30年度の青森県後期高齢者医療保険料について

均等割額 [被保険者全員が納める額] 40,514円	+	所得割額 [所得に応じて納める額] 基礎控除後の所得（※1）×7.41%	=	保険料額 (限度額62万円)※2
----------------------------------	---	--	---	---------------------

※均等割額、所得割率はこれまでと変わりません。

※1 基礎控除後の所得とは、前年の総所得金額等から基礎控除額（33万円）を差し引いた額です。

※2 平成29年度は、57万円

保険料の軽減措置について

■ 所得が低い方の軽減

・同一世帯内の被保険者及びその世帯の世帯主の所得を合わせた合計所得に応じて、次のとおり均等割額を軽減します。

世帯の所得額の合計	軽減割合
33万円以下かつ被保険者全員が所得0円の場合 (ただし公的年金控除額は80万円として計算)	9 割
33万円以下	8.5 割
33万円 + (27万5千円 × 被保険者の数) 以下 ※1	5 割
33万円 + (50万円 × 被保険者の数) 以下 ※2	2 割

※1 平成29年度は、33万円 + (27万円 × 被保険者の数) 以下

※2 平成29年度は、33万円 + (49万円 × 被保険者の数) 以下

・被保険者の基礎控除後の所得が58万円以下の方の所得割額2割軽減は廃止となります。

■ 被用者保険の被扶養者であった方の軽減

・均等割額が7割軽減から5割軽減に変更になります。所得割額の負担はありません。

※被用者保険とは、全国健康保険協会管掌健康保険、船員保険、健康保険組合、共済組合などです。

※元被扶養者であっても、世帯の所得が低い方は、均等割の軽減（9割、8.5割軽減）が受けられます。

その他ご不明な点は、青森県後期高齢者医療広域連合までお問い合わせください。

【お問合せ先】 青森県後期高齢者医療広域連合 電話：017-721-3821

国民年金に関するお知らせ

納付猶予制度の30歳未満から50歳未満への拡大について

平成28年7月1日から、30歳未満の方を対象とした若年者納付猶予制度の対象年齢が拡大され、50歳未満の方を対象とした納付猶予制度となっております。

ただし、平成28年6月以前の期間は、引き続き30歳未満であった期間が納付猶予制度の対象となります。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、納付猶予制度の他にも、免除制度等もありますので、国民年金窓口へご相談ください。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていただけない方に対して、電話、書面、面談により早期に納めていただくよう案内を行っております。

未納のまま放置されると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付が無い場合は、延滞金が課されるだけではなく、納義務のある方の財産を差し押さえることがあります。

※納付義務者とは被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者及び世帯主です。

国民年金のご相談・手続き等については左記までお問い合わせください。

【お問合せ先】

今別町役場 町民福祉課 国民年金係

電話…0174-13513003

日本年金機構 青森年金事務所 お客相談室

電話…017173417498



「COOL CHOICE」 (クールチョイス・賢い選択) の推進について

青森県では、国の「地球温暖化対策計画」に基づき、「青森県地球温暖化対策推進計画」を改定し、新たな温室効果ガス削減目標を設定しました。

《青森県の新たな温室効果ガス削減目標》
2030年までに2013年度比31%削減

この目標達成のため、地球温暖化対策の取組強化に向けた新たな展開として「COOL CHOICEあおもり」を宣言し、省エネやゴミ減量、リサイクルなどの環境配慮行動の実践・普及に取り組みることとしております。今別町においても、「COOL CHOICEあおもり」の推進に向け、省エネ、※3R(スリーアール)を推進することとしましたので、町民の皆様のご協力をお願いします。

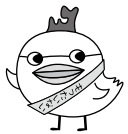
《具体的な取組として》

- マイバックの活用や詰め替え商品の購入など、環境に優しい買い物に協力しよう。
- 紙ゴミの分別を増やし、雑紙(ざつがみ)(その他紙)の資源回収に協力しよう。
- 生ゴミの水切りを徹底し、食品ロスの削減を心がけよう。
- 衣類のリユース・リサイクルに協力しよう。
- 省エネに心がけよう。
- 集団回収やスーパーなどの店頭回収等を上手に利用しよう。

「もったいない」を合言葉に町民の、皆さんも一緒に取組、全国下位レベルからの早期脱却を目指しましょう。

※3R(スリーアール)

- 廃棄物の発生抑制(リデュース)
- 再使用(リユース)
- 再利用(リサイクル)



もったいない・あおもり 県民運動キャラクター「エッコ」

【今別町役場 町民福祉課】

今別診療所からのお知らせ

○7月のお知らせ

7月5日(木) 午後訪問診療
7月19日(木) 午後訪問診療

今別町奨学金貸与のお知らせ

1 貸与対象者

ア…今別町に居住する者の子どもであること。
イ…高校、大学、短大、高専、各種専門学校に在学中の方。
(ただし、通信教育、大学院、放送大学、自治医科大、防衛大、海上保安大は除く)

※世帯の収入によっては貸与できない場合がありますので、詳細は教育委員会にお問合せ下さい。

2 貸与額及び貸与期間

ア…奨学金の貸与額(月額)は、高校15,000円、大学等30,000円です。

3 申請手続き

イ…貸与期間は、在学する学校の正規の就学期間です。

【お問合せ先】

今別町教育委員会 電話…0174-3512157

オユン&くどうのマリアーディングクラブを開催

7月13日(金曜日)に、今別町の公民館において、第1回「オユン&くどうドラマリーディングクラブ」を実施します。第1回はモンゴルの有名な絵本のひとつ「白いめす馬」を朗読します。愛が溢れる一冊であるため、心温まる一時をみなさんと一緒に過ごせるだろうと思っております。おいしいケーキタイムもありますので、皆さんぜひお越しください。

今別町公民館
平成30年7月13日(金)
18:00 受付
18:30 開演
19:00 ケーキタイム

※訪問診療の際は、午後の診察時間が15時頃になります。
※予定は、変更になる場合がありますので、お薬を飲み終える前に余裕を持っておいで下さい。

【お問合せ先】
今別診療所 電話…0174-3512680



自動車税の納付確認の電子化について

平成27年4月1日から、登録自動車については、国の継続検査窓口での自動車税の納税証明書の提示を省略できるようになりました。

詳しくは、県庁HP http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/jidosya_denshika.html をご覧ください。

△ご注意ください△

以下に該当する方は、納税証明書の提示が必要です。
・軽自動車、小型一輪自動車の継続検査を受検される方
・自動車税を納付後、すぐに継続検査を受検される方

【お問合せ先】

東青地域県民局県税部納税管理課
青森市新町二丁目4-30 県庁舎北棟1階
電話…0171-73419970
0171-73419971

東青地域県民局環境管理部移転のお知らせ

東青地域県民局環境管理部は7月9日(月)に左記に移転します。電話番号も変更となりますので、御注意ください。

【住所】

〒030-8570

青森市長島1丁目1-1 青森県庁東棟4階

【連絡先】

電話…0171-73419185

FAX…0171-73418023

青森県立青森北高等学校 今別校舎に関するお知らせ

学校閉庁日のお知らせ

青森北高校今別校舎では8月13日(月)・8月14日(火)の二日間を学校閉庁日としますのでお知らせします。

学校閉庁日は「学校が業務を行わない日」となっていますので、校舎に用事のある方は学校閉庁日以外の日にお願いたします。

体験入学のご案内

青森北高校今別校舎では7月31日(火)に体験入学を実施します。当日は学校紹介を始め、理科と情報の授業体験、部活動(フェンシング部・茶華道部)や学校施設の見学を予定していますので、本校舎に興味のある中学校3年生及び保護者の方は是非参加してください。また、この日は学校の一般公開(9:50~12:00)も兼ねて実施しますので、地域の方の参加もお待ちしております。

【お問合せ先】

青森北高等学校今別校舎
電話・0174-3512024



県教育委員会では、グローバル化等による社会の急速な変化や、今後見込まれる大幅な中学校卒業生数の減少等に対応するため、平成30年度から34年度までの具体的な学校規模・配置等を示す青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画を平成29年7月に決定しました。

青森北高校今別校舎については、学校規模の標準(1学年当たり4学級以上)を満たしていないものの、募集停止等を行った場合、通学が困難な地域が新たに生じることから、地域校として配置しました。

ただし、入学者が極めて少ない場合等には、高校教育として求められる質の確保に支障が生じる懸念があるため、以下の基準に基づき、募集停止等に向けて、今別町等と協議します。

募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満(20人未満)となった場合

なお、今年度の青森北高校今別校舎の入学者は【6名】となっています。

今後とも、県立高校教育改革に関する情報提供を行いながら、第1期実施計画を推進してまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いたします。

【お問合せ先】

青森県教育庁高等学校 教育改革推進室
〒030-8540
青森市新町2-3-1
電話・017-734-9866

ラブ・いまべつ会東京交流会のお知らせ

ラブ・いまべつ会東京交流会が11月11日(日)に開催されます。今回は、今別町の近況報告と今別町産農水産物の販売を兼ねて開催することとなりました。会員の皆様方のふるさと『今別町』について語り合ひましょう。多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成30年11月11日(日)
- 集合時間：午前11時(厳守)
- 集合場所：①地下鉄銀座線・丸の内線「赤坂見附駅」10番出口改札前
②地下鉄千代田線「赤坂駅」2番出口階段下
※各集合場所には世話人会の方が旗を持って待機しています。
- 会 場：惣菜居酒屋「簀川」溜池山王店
住 所：東京都港区赤坂1-1-16 細川ビル地下1階
電 話：03-3505-8401
- 会 費：一人 4,000円
- 行 程：11時15分 日枝神社参拝・見学
11時45分 日枝神社出発
11時50分 惣菜居酒屋「簀川」着 ※順次受付
12時~12時30分 物産販売(1回目)
12時30分~15時 交流会・懇親会
15時~15時15分 物産販売(2回目)
- 募集人員：40名程度
(ラブ・いまべつ会員とその家族、会へ未加入の友人・知合い大歓迎です)



ラブ・いまべつ
新規会員募集中

ラブ・いまべつ会では新規会員を随時募集しております。ご家族やお知り合いの方で、入会希望の方がいらっしゃいましたらご連絡ください。(年会費：2,000円) ※毎月1回『広報いまべつ』、年1回『町の特産品』を送付しています。

【お問合せ先】ラブ・いまべつ会事務局(今別町役場 企画財政課)

電 話：0174-35-3012 FAX：0174-35-2298

森林鉄道運材中に負傷し青森市の整骨院へ入院 結婚により澤田日記の内容に変化現る



No. 9

今回も、荒井悦郎青森県史編さん専門委員の解説文を掲載していきます。
(敬称略)

補充隊に残り満州へ渡らずに3ヶ月で除隊に

〔5〕歩兵第52連隊補充隊時代

澤田の2度目の召集は1941(昭和16)年8月で、この間1940(昭和15)年に今別町今別の佐藤きさと結婚している。きさとの結婚により澤田日記の内容は変化し、きさに関する記述がしばしば見られるようになる。「応召日誌」のきさに関する記述はその延長上にある。

1941(昭和16)年7月17日、臨時編成甲が下令され、澤田に2度目の召集令状が届いた。

澤田は6月23日、三厩村増川理右衛門沢で森林鉄道による運材中に右足を負傷し、翌日青森市の川島整骨院に入院した。青森市で治療を続けていたが、7月26日に自宅に召集令状が届いたことを翌27日に父からの速達で知り、その日のうちに今別の自宅に戻った。

8月3日、臨時召集のため中津軽郡清水村(弘前市)の歩兵第52連隊(秘匿名北16部隊)に上等兵として応召し、歩兵



結婚当時の澤田一男さん(左)と妻のきささん(右)
(写真提供:澤田ひろ子氏)

第52連隊補充隊第1機関銃中隊に編入された。足の負傷があつても即日帰郷とならなかつたが、「応召日誌」によると訓練免除などの便宜が図られたようである。

澤田が応召した歩兵第52連隊は3代目である。1937(昭和12)年、満州永久駐割部隊となつた第8師団の留守師団が弘前に置かれた。その留守第8師団を基幹として編成された常設師団・第57師団(奥部隊、弘前)の隷下部隊として1940(昭和15)年8月1日の編成下令により新編された。歩兵第52連隊の兵士の多くは岩手県出身者で、同県の郷土部隊といわれた。

2度目の応召で、階級も上等兵であり、初年兵時代に比べ余裕のある兵隊生活を送っているように見える。家族・故郷の人々や歩兵第105連隊時代の戦友との郵便の往復、面会などの記述が多くなっている。

歩兵第52連隊は第57師団隷下部隊として1941(昭和16)年、関特演(関東軍特種演習)を機に満州黒竜江沿岸に移駐した。澤田は補充隊に残り、満州に渡ることなく、1941(昭和16)年10月27日、応召3ヶ月足らずで除隊となつた。澤田は除隊と復員に関して、当日の日記に何も記していない状態で、「応召日誌」を終えている。10月31日からはハードカバーの「当用日記」に戻り、何事もなかつたように再び日常生活が綴られている。

〔6〕歴史資料としての澤田一男日記

戦後、日中戦争やアジア・太平洋戦争の体験者たちにより、部隊史の刊行や私

家版の陣中日記、体験談の出版がなされてきた。しかし、その多くは出征から復員までの戦闘記録や戦地の体験にページが割かれており、平時の兵営生活について記述されたものは少ない。部隊史に掲載された体験談には兵営生活を懐かしむものがあるが、その多くは寄稿された短文の「想い出」である。

澤田日記は、1人の補充兵が新兵として訓練を受け1人前の「兵隊」となるまでと、戦場体験を経た後、再度の召集を受けて古兵として送った兵営生活の日常を綴つたものである。ここに描かれた兵営生活は、起床ラップにはじまり就寝ラップに終わる厳格な時間に管理された内務班生活という通念とは異なるものである。日本軍隊の宿病ともいわれる「私的制裁」に関する記述は抑制されているように見受けられるが、兵士の日常生活を知る格好の資料である。(つづく)

(今月号で荒井悦郎青森県史編さん専門委員の解説文は終了となります。来月号からは澤田一男日記の本文が始まります。)

〔青森県史 資料編 近現代8 日記〕より転載・青森県県民生活文化課県史編さんグループ提供)

会員を募集しています

今別町をはじめ外ヶ浜町三厩地区・平館地区・蟹田地区、蓬田村の地域歴史を後世へ語り継ぐのが私たちの「いまべつを語り継ぐ会」で機関紙の『上磯の文化』を毎年刊行し、上磯地域を元気にするのが私たちの希望です。

趣旨に賛同できる方を募集しています。

【連絡先】

☎090-5237-7999(熊谷)まで連絡して下さい。お待ちしております。

